

令和5年度 事業報告

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

概要

公益社団法人岐阜南法人会は定款の目的に則り、税知識の普及、納税意識の高揚並びに適正・公正な申告納税制度の維持発展と税務行政の円滑な執行に寄与する事業を推進してきた。

また、地域企業と地域社会の健全な発展のため、社会貢献事業を積極的に展開するとともに、会員企業の発展に資する事業を推進してきた。

1 組織の現状

令和6年3月31日現在、会員数3,315社(前年同期比31社減少)、加入率37.48%(同1.13%減少)と前年度に比較し会員数及び加入率とも減少している。新規加入件数は前年度の123件に対して本年度61件(約50%)に留まっており、退会件数も83件と依然高止まりしている。

2 事業の実施状況

当法人会は、公益社団法人として「税の啓蒙・啓発」「地域企業の発展」「地域社会への貢献」の事業遂行努力をコロナ禍が治まりつつある中で実施してきた。

税の啓蒙と税知識の普及を目的とした研修会は、管内税務署の署長、副署長等の署幹部を講師に招き講演会を開催するとともに、税制改正に関する研修会、簿記研修会、経営研修会等を一般参加者も対象にして開催してきた。

税制委員会では、税制に関する会員からの要望事項を取りまとめ「令和6年度税制改正に関する提言書」を地元選出の国会議員2名、各務原市・羽島市の両市長及び市議会議員に対し、提言活動を行った。

12月には著名な講師を招いて大規模講演会を公開で実施したところ、一般参加者から大好評となり、当法人会の社会貢献活動を広く周知することができた。また、3月に青年部会主催による公開講演会は、青年経営者向けの演題に絞って実施したことから、新規に青年部会に入会者を獲得するなど成功裡に事業活動を終えることができた。

租税教室、青年部会3校、女性部会4校の小学校で実施した。租税教室実施後に募集した「税に関する絵はがき」は、連携協力の当管内間税会の3校を合せ、合計10校から391点の応募を受けた。優秀作品の表彰は各学校に女性部会が赴いて実施した。出席の児童をはじめ校長・担任の先生に対し表彰状がバナナの樹皮を利用した再生紙で作成し、資源の有効活動(SDGs)についても当法人会が配慮し活動していることなどを説明した。

以上の事業活動は、年3回発行する会報誌「Avanti みなみ」に掲載し会員に周知するとともに、公共施設にも配付し広く一般にも周知を図った。また、9月に新装改良した当法人会ホームページにも事業活動を紹介し情報発信を行った。